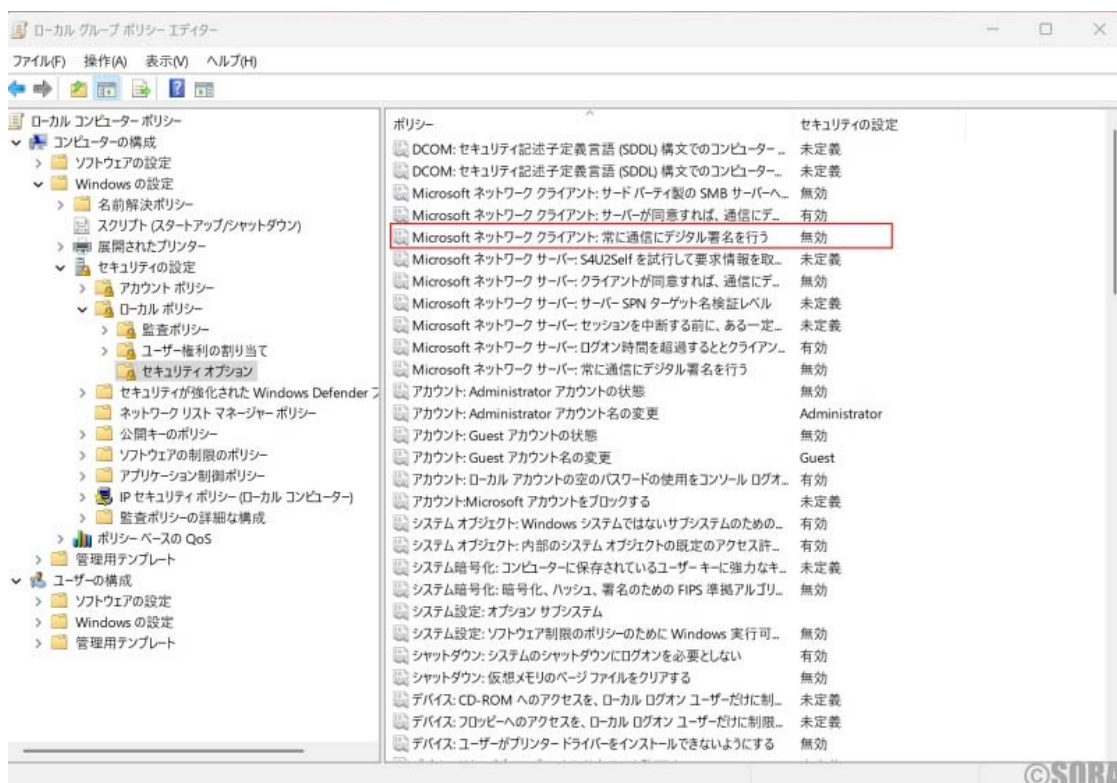


Windows11 24H2 アップデート後 NAS につながらない原因と対策

Windows11 24H2 では「SMB 署名」と「ゲストアカウント」の関連で問題が発生することが判明しました。そのため、24H2 アップデート後に NAS や複合機の接続に問題が生じた場合は、これらの 2 点に対する対策が必要となります。

対策を講じる前に、まず問題の Windows 11 で SMB 署名が有効になっているかどうかを確認しましょう。

SMB 署名の確認手順



Windows 11 Pro では、グループ ポリシーで SMB 署名の状態を確認できます。

1. Windows11 検索欄に「gpedit.msc」と入力して、Enter キーを押します。
2. ローカル グループ ポリシー エディターで、[コンピューターの構成]>[Windows の設定]>[セキュリティの設定]>[ローカル ポリシー]>[セキュリティ オプション]に移動します。
3. [Microsoft ネットワーク クライアント: 常に通信にデジタル署名を行う]を確認します。

SMB 署名問題の特定

Windows11 Pro 24H2 にアップデートしてから NAS につながらない場合、「SMB 署名」か「ゲストアカウント」のどちらかの問題になります。

問題の切り分けは、ネットワークレベルで NAS 自体にアクセスできない場合は「SMB 署名」が考えられます。

NAS にアクセスできるが、認証画面が表示されて認証エラーになる場合は「ゲストアカウント」が考えられます。

2つのパターンについての対策を考えていきます。

SMB 署名への対策

Windows 11 Pro が「SMB 署名」が有効になったことでの対策は以下2つが考えられます。

NAS で SMB 署名を有効にする

Windows 11 の SMB 署名を無効にする

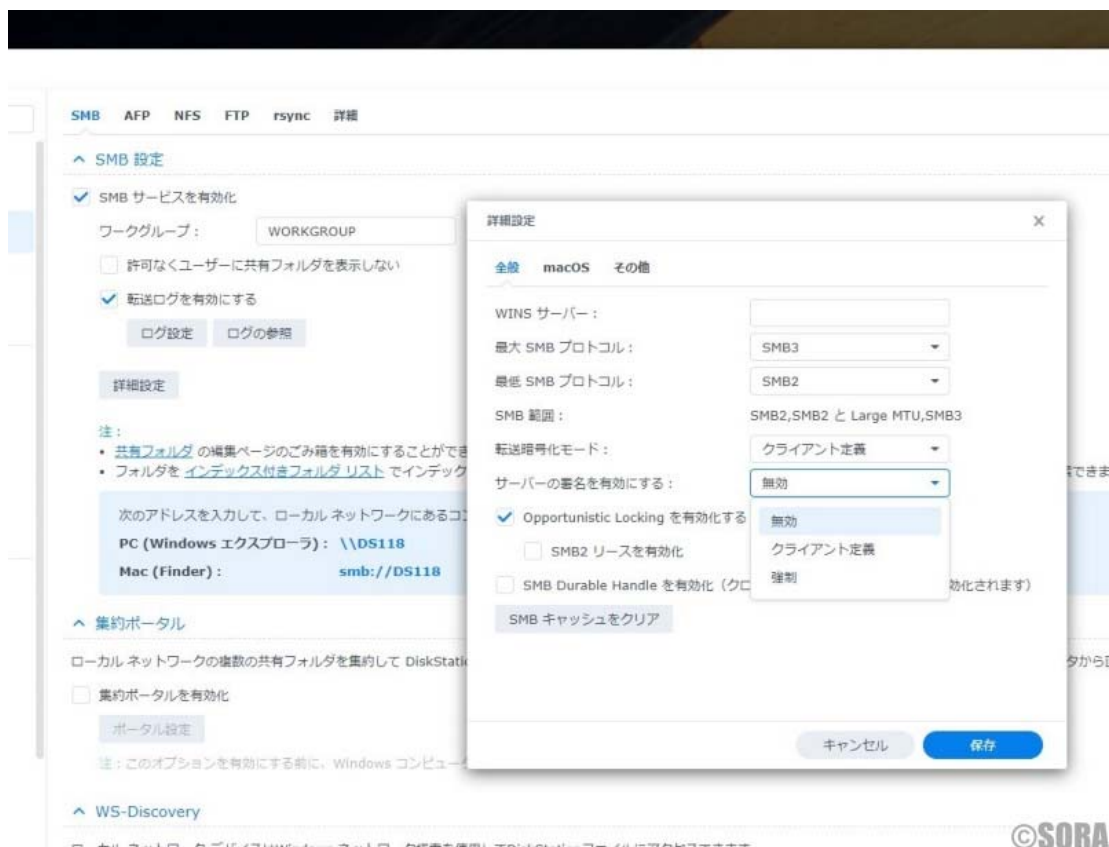
NAS で SMB 署名を有効にする

最新の NAS には、通常 SMB 署名機能が搭載されています。

例えば、Synology NAS では設定画面でこの機能を有効にできます。

Synology の初期設定では、転送暗号化モードはクライアント定義、サーバーの署名は無効になっています。

Windows 11 Pro 24H2 アップデート後も、初期設定のまま NAS にアクセスできました。



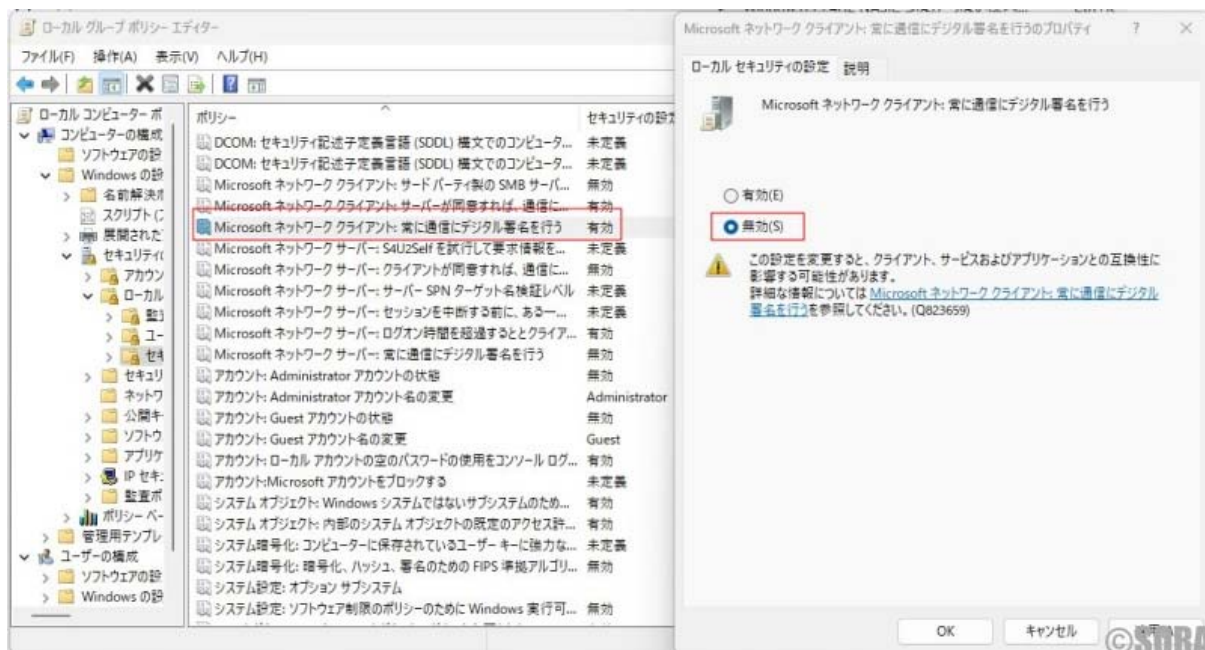
Windows 11 の SMB 署名を無効にする

セキュリティ面では推奨されませんが、Windows 11 側の SMB 署名を無効にすることで NAS にアクセスできるようになります。

NAS が SMB 署名に対応していない場合など、暫定的な対策となります。

Windows11 Pro で SMB 署名を無効にする手順は以下の通りです：

1. Windows11 検索欄に「gpedit.msc」と入力して、Enter キーを押します。
2. ローカル グループ ポリシー エディターで、[コンピューターの構成]>[Windows の設定]>[セキュリティの設定]>[ローカル ポリシー]>[セキュリティ オプション]に移動します。
3. [Microsoft ネットワーク クライアント：常に通信にデジタル署名を行う]をクリック
4. プロパティを無効にする。



ゲストアカウントへの対策

ゲストアカウントに関する対策には、次の2つの方法があります：

- ・ NAS と Windows 11 に資格情報を登録する
- ・ Windows 11 の SMB 署名を無効にする

NAS と Windows 11 に資格情報を登録する



上記設定により、ユーザ認証とSMB暗号化にてアクセスする

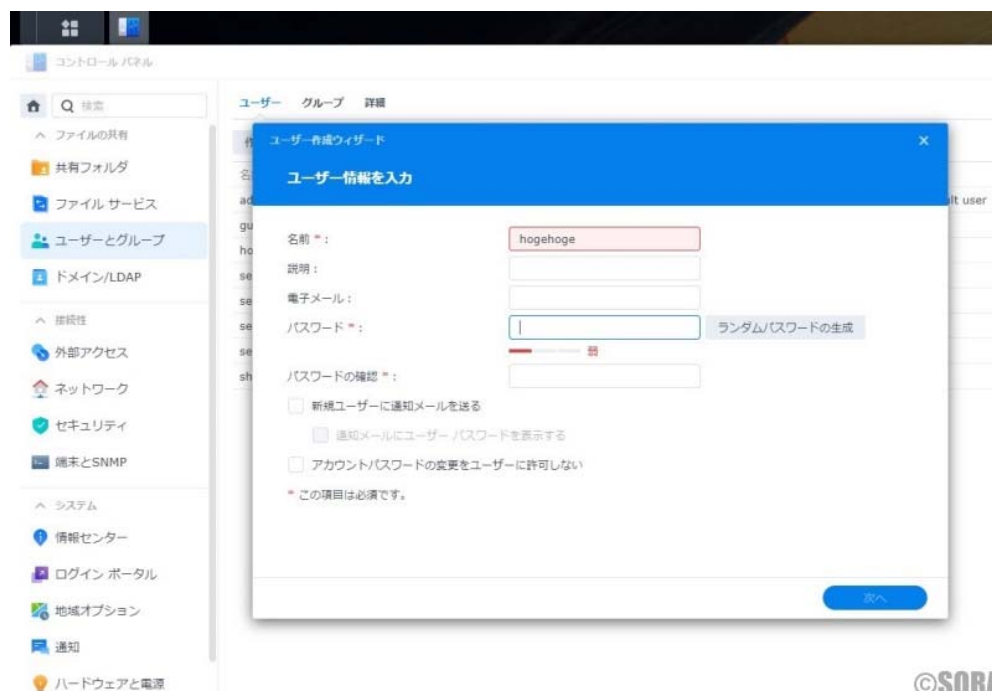
©SORA

マイクロソフトは「ゲストアカウントを認めない」方針を取っているため、NAS や複合機にユーザー情報を登録し、その情報を Windows 11 の資格情報に記録することをお勧めします。これは将来的にも有効な対策となります。

手順としては、まず NAS 側にアクセス用のユーザーを登録し、その情報を Windows 11 の資格情報に記録します。

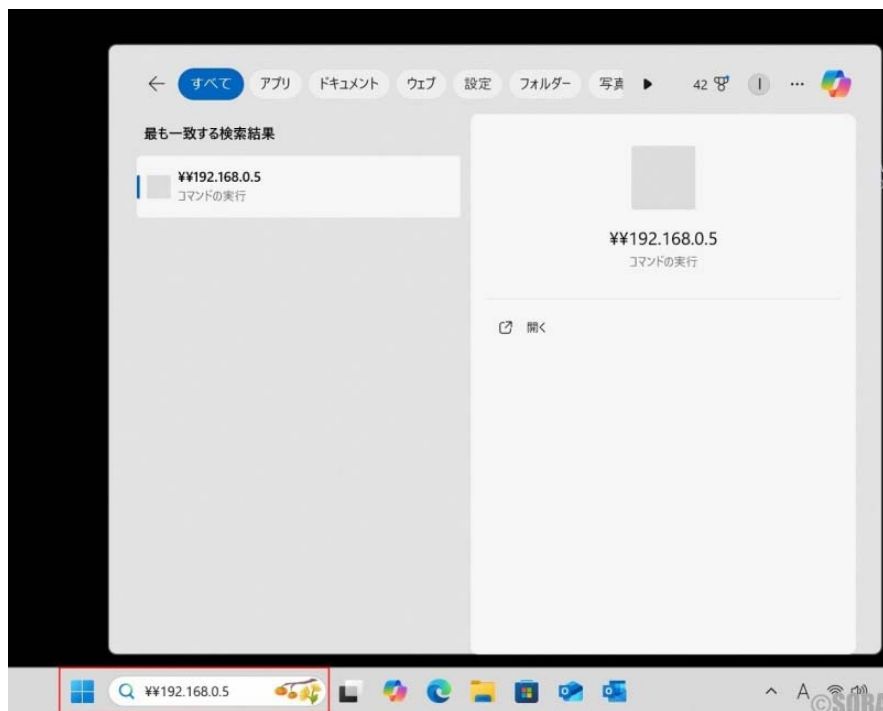
以下に Synology NAS と Windows 11 での具体的な手順を紹介します。

NAS の管理画面から NAS にアクセスするユーザー情報を登録する。(例：hoge)

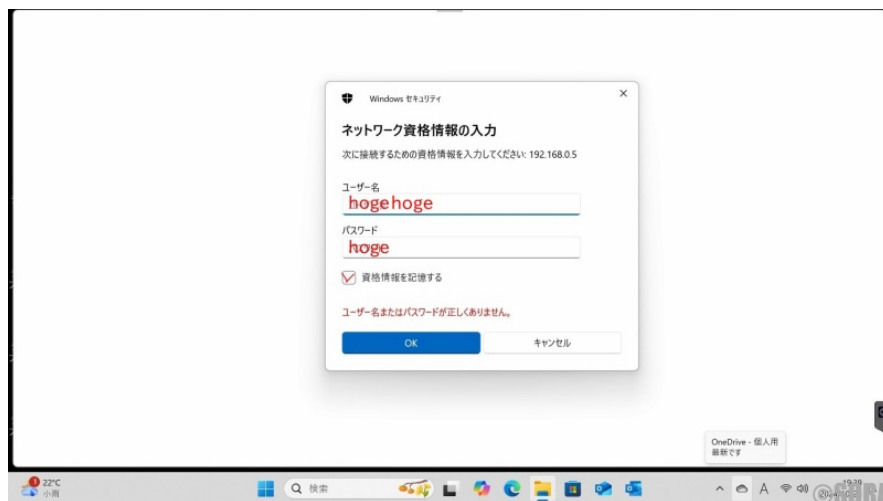


©SORA

NAS にアクセスする Windows 11 から NAS（例:192.168.0.5）に接続する。
Windows11 の検索欄に（例：¥¥192.168.0.5）と入力。



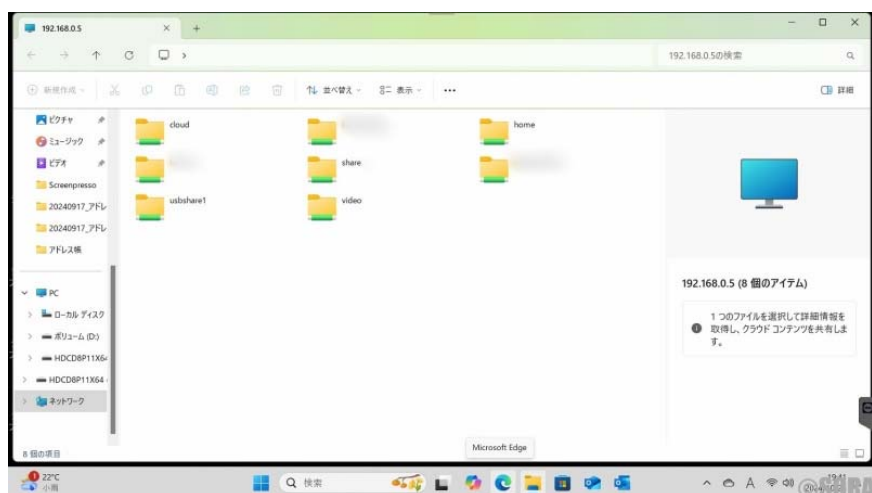
表示された認証画面で登録したユーザー名とパスワードを入力します。



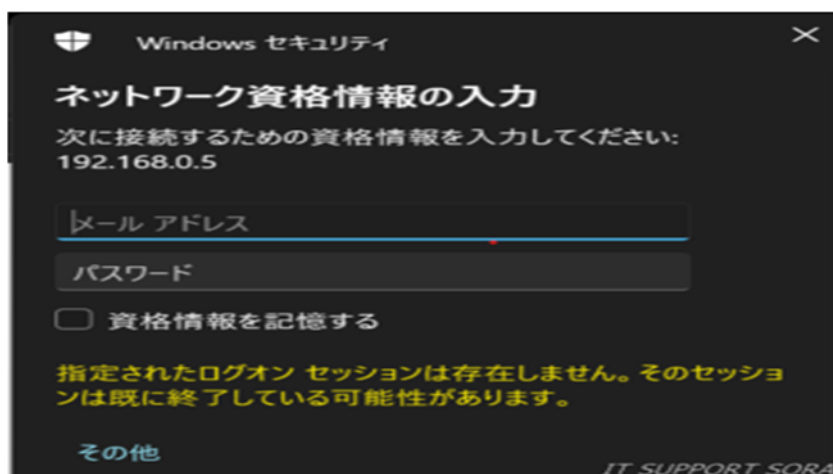
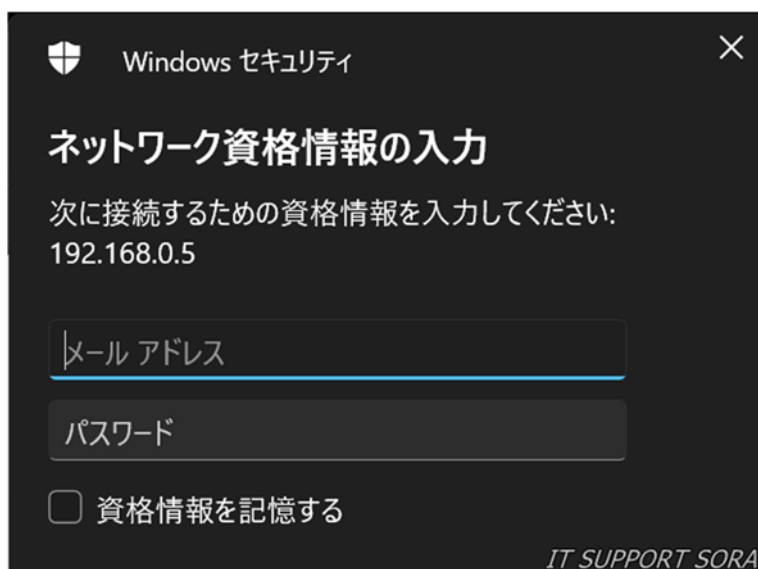
「資格情報を記録する」にチェックを入れると、Windows 資格情報に情報が保存され、以後認証画面が表示されなくなります。



認証が成功すると NAS 上の共有フォルダが表示されます。



なお、NAS への接続の際に表示される認証画面のユーザー欄が「メールアドレス」になっている場合、ユーザー名は「hoge¥hoge」と入力してください。

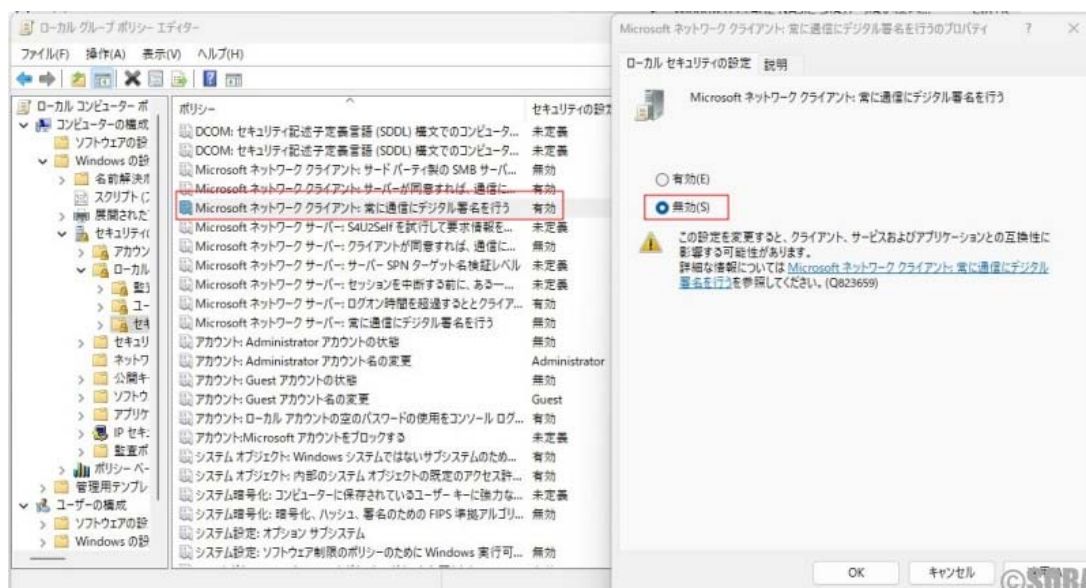


Windows 11 の SMB 署名を無効にする

セキュリティ面では推奨されませんが、Windows 11 側の SMB 署名を無効にすることで NAS にアクセスできるようになります。

ただ、Windows11 23H2 とは異なり、ゲストアカウントでも認証画面が表示されるようです。

1. Windows11 検索欄に「gpedit.msc」と入力して、Enter キーを押します。
2. ローカル グループ ポリシー エディターで、[コンピューターの構成] > [Windows の設定] > [セキュリティの設定] > [ローカル ポリシー] > [セキュリティ オプション]に移動します。
3. [Microsoft ネットワーク クライアント: 常に通信にデジタル署名を行う]をクリック
4. プロパティを無効にする。



まとめ

Windows 11 24H2 のアップデートにより、お使いの条件によっては NAS への接続に問題が発生する可能性があります。

主な原因は以下の 2 点です：

- ・SMB 署名の仕様変更
- ・ゲストアカウントへのアクセス制限

これらの問題に対する主な対策は次のとおりです：

1. NAS で SMB 署名を有効にする
2. Windows 11 の SMB 署名を無効にする（セキュリティ上のリスクあり）
3. NAS と Windows 11 に資格情報を登録する

問題が発生した場合は、まず Windows 11 で SMB 署名が有効になっているかを確認し、適切な対策を講じることが重要です。

セキュリティと利便性のバランスを考慮しながら、最適な解決策を選択してください。